



2025 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ピー・ビーシステムズ
代 表 者 名 代表取締役社長 富田 和 久
(コード番号：4447 東証グロース、福証Q-B o a r d)
問 合 せ 先 執行役員管理本部長兼経理部長 三 堂 健 一
(TEL. 092-481-5669 (代表))

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2024 年 11 月 14 日に公表しました 2025 年 9 月期（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）業績予想並びに配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2025 年 9 月期業績予想の修正（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,420	380	376	256	41.98
今回修正予想（B）	2,900	160	159	97	16.03
増減額（B－A）	△520	△220	△216	△159	－
増減率（％）	△15.2	△57.9	△57.4	△62.1	－
（ご参考）前期実績 （2024 年 9 月期）	3,107	362	362	255	40.06

(2) 業績予想修正の理由

今期は、特定顧客や超大型案件への依存から脱却し、安定した顧客基盤の構築を目指して、営業・製造体制の強化と人財の採用・育成に注力してまいりました。しかしながら、Citrix・VMware・Oracle など主要海外ベンダーの販売ポリシーや販売価格が変動したことで、エンドユーザーの投資判断にも変化や遅れが生じることとなりました。加えて、期初に計画していた案件の受注が想定通りに進捗せず、来期以降計画へのスライドが約 461 百万円、案件のロストが約 58 百万円発生し、売上高は当初予想額を下回る見通しとなりました。

営業利益、経常利益及び当期純利益につきましても当初予想額を下回る見通しとなりました。売上高の減少に加えて、人財採用や教育体制の強化、エンジニアの就労環境整備など、将来を見据えた先行投資を計画通り積極的に行ったことが影響しました。内製率・利益率の向上や持続的成長に向けた基盤づくりが進む一方で、これらの費用負担も利益を押し下げる要因となりました。

事業成長に向けた取り組みは順調に進展しています。若手エンジニアには新卒一年目より戦力

化が開始される社員も複数おり、すでに売上への貢献実績がでてきています。営業面でも、「サイバー忍法帖TM」やメーカー協業を通じた新規顧客開拓が奏功し、新規取引社数・受注金額ともに前年を上回っています。セキュアクラウドシステム事業、エモーショナルシステム事業ともに受注残高も堅調に推移し始めており、来期以降の成長に向けた土台は着実に築かれています。

今後も短期的な変動に左右されることなく、企業価値と株式価値の向上に向け、経営基盤の強化に取り組んでまいります。

2. 配当予想の修正

(1) 2025 年 9 月期 期末配当予想修正の内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回発表予想	0 円 00 銭	10 円 00 銭～12 円 50 銭	10 円 00 銭～12 円 50 銭
今回修正予想		20 円 00 銭	20 円 00 銭
当期実績	0 円 00 銭		
前期実績 (2024 年 9 月期)	0 円 00 銭	10 円 00 銭	10 円 00 銭

(2) 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つと位置付けており、事業の継続的な成長や、資本効率の改善等による株主価値の向上に努めるとともに、配当も継続的に実施していくことを基本方針としております。2025 年 5 月 15 日に当社 KGI を「2030 年 9 月期までに ROE30%を達成、維持継続」と、本質的な株式価値向上に目標を変更したことに伴い、2025 年 9 月期の期末配当予想につきましては、前回予想（2024 年 11 月 14 日公表）の 1 株当たり 10 円～12 円 50 銭から増額し、1 株当たり 20 円 00 銭に修正いたします。

以 上

※上記の業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、配当については、2025 年 12 月下旬に開催予定の第 29 期定時株主総会の決議を持ちまして正式に決定、実施予定です。